

# DIAMジャパン・セレクション<DC年金>

一般社団法人投資信託協会分類: 追加型投信/国内/株式

本商品は元本確保型の商品ではありません

## 1.投資方針

### 1.基本方針

当ファンドは、信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。

### 2.投資態度

①主にジャパン・セレクション・マザーファンドへの投資を通じ、実質的に国内のすべての上場株式を投資対象とします。

#### ②投資スタイル

■大局観や相場局面判断を重視

マクロ調査分析(経済・金融・政策など)による大局的な相場局面判断に基づいて投資銘柄を選定します。

■徹底した積極運用

個別銘柄選択による積極的な運用スタンスで臨むため、ベンチマークは特定しません。また、インデックス(株価指数)の業種構成などに縛られない銘柄選択を行います。

■個別銘柄調査・分析

当社独自の調査により成長性とバリュー面等を勘案の上、投資銘柄の選定を行います。

#### ③運用プロセス

マクロ経済・金融政策、相場局面分析をベースとしたトップダウンアプローチを行います。

④株式の実質組入比率は原則として高位を維持します。ただし、市況動向等によってはリスク回避の観点から株価指数先物取引やオプション取引の利用を含め、株式実質組入比率を低下させます。

(参考)「ジャパン・セレクション・マザーファンド」の投資方針

### 1.基本方針

この投資信託は、信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。

### 2.投資態度

①国内の全上場銘柄を投資対象とし、アクティブ運用を行います。マクロ経済・金融政策・株式市場動向をベースとしたトップダウンアプローチを行い、大局的な相場局面判断に基づいて投資戦略を決定、個別銘柄を分析し、ポートフォリオを構築します。

銘柄重視の立場から、インデックスの業種構成などに縛られない銘柄選択を行い、ベンチマークは特定しません。

②当社独自の調査により、グローバルスタンダードで勝ち抜ける企業を選定します。M&A、自社株買い、リストラ等により収益力の向上やEPSの増加が期待できる成長株を中心に、銘柄数を絞り込んで投資します。

③企業評価では主として収益力や技術力といった成長力に着目すると共に、バリュー面からのチェックも行います。

④株式の組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向によってはリスク回避の観点から株価指数先物取引やオプション取引の利用を含め、組入比率を低下させることがあります。

⑤非株式割合は、原則として信託財産総額の50%以下とします。

⑥外貨建資産への投資は行いません。

⑦有価証券先物取引等を活用することがあります。

## 2.主要投資対象

ジャパン・セレクション・マザーファンド

(マザーファンドは、わが国の株式を主要投資対象とします。)

## 3.主な投資制限

株式への実質投資割合には、制限を設けません。  
外貨建資産への投資は行いません。

## 4.ベンチマーク

特定しておりません。

## 5.信託設定日

2001/11/1

## 6.信託期間

無期限

## 7.償還条項

次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。

- ・受益権口数が10億口を下回ることとなった場合。
- ・受益者のために有利であると認めるとき。
- ・やむを得ない事情が発生したとき。

## 8.決算日

毎年3月および9月の各17日(休業日の場合は翌営業日)

## 9.信託報酬

ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.76%(税抜1.60%)  
内訳(税抜)

委託会社:年率0.60%  
販売会社:年率0.90%  
受託会社:年率0.10%

## 10.信託報酬以外のコスト

その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。

- ・組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料
  - ・信託事務の処理に要する諸費用
  - ・監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等
- 監査費用は毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。

※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

## 11.お申込単位

1円以上1円単位

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■「DIAMジャパン・セレクション<DC年金>」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、債券、株式、不動産投資信託証券(リート)など値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。

## DIAMジャパン・セレクション<DC年金>

一般社団法人投資信託協会分類: 追加型投信 / 国内 / 株式

本商品は元本確保型の商品ではありません

### 12.お申込価額

購入申込受付日の基準価額

### 13.お申込手数料

ありません。

### 14.ご解約価額

換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額

### 15.信託財産留保額

換金申込受付日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

### 16.収益分配

毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。  
※収益分配金は自動的に全額再投資されます。

### 17.申込不可日

金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。また、確定拠出年金制度上、購入・換金のお申込みができない場合がありますので運営管理機関にお問い合わせください。

### 18.課税関係

確定拠出年金の加入者におかれましては、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

### 19.損失の可能性

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

### 20.セーフティーネットの有無

投資信託は、預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

### 21.持分の計算

解約価額×保有口数

注: 解約価額が10,000口あたりで表示されている場合は10,000で除して下さい。

### 22.委託会社

アセットマネジメントOne株式会社  
(ファンドの運用の指図を行う者)

### 23.受託会社

みずほ信託銀行株式会社  
(ファンドの財産の保管および管理を行う者)

### 24.基準価額の主な変動要因

#### 1. 株価変動リスク

投資する企業の株価の下落は、基準価額の下落要因となります。当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。

#### 2. 業種および個別銘柄選択リスク

業種および個別銘柄選択による投資は、株式市場全体の動きと基準価額の値動きが異なる要因となる場合があります。業種および個別銘柄選択リスクとは、投資した株式の価格変動によっては収益の源泉となる場合もありますが、株式市場全体の動向にかかわらず当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があるリスクをいいます。当ファンドは、業種および個別銘柄の選択により収益を積み上げること为目标としているため、株式市場全体の動きとは異なる場合があります。

#### 3. 流動性リスク

投資資産の市場規模が小さいことなどで希望する価格で売買できない場合は、基準価額の下落要因となります。当ファンドにおいて有価証券等を実質的に売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。

#### 4. 信用リスク

投資する有価証券の発行者の財政難・経営不安・倒産等の発生は、基準価額の下落要因となります。当ファンドが実質的に投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、株式の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■「DIAMジャパン・セレクション<DC年金>」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、債券、株式、不動産投資信託証券(リート)など値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。

## DIAMジャパン・セレクション<DC年金>

一般社団法人投資信託協会分類:追加型投信/国内/株式

本商品は元本確保型の商品ではありません

### <その他の留意点>

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金のお申込みの受付が中止となる可能性、すでに受付けた換金のお申込みの受付が取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 有価証券の貸付等においては、取引相手先の倒産等による決済不履行リスクを伴います。
- 当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等があった場合、資金変動等が起こり、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額に影響をおよぼす場合があります。
- 当ファンドの収益分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。
- 資金動向、市況動向等によっては、投資態度にしたがった運用ができない場合があります。

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■「DIAMジャパン・セレクション<DC年金>」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、債券、株式、不動産投資信託証券(リート)など値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。